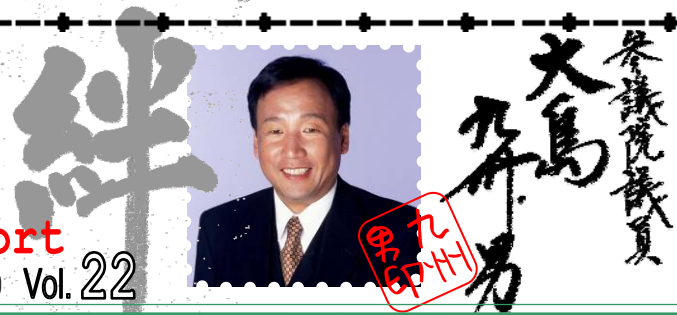




号外
 民主党プレス民主編集部
 〒100-0014 東京都千代田区永田町1-11-1
 電話03-3595-9988 (代表)
 press@dpj.or.jp
 http://www.dpj.or.jp

民主党参議院比例区第37総支部
 〒822-0022 福岡県直方市知古 764-1
 ☎0949-22-0574

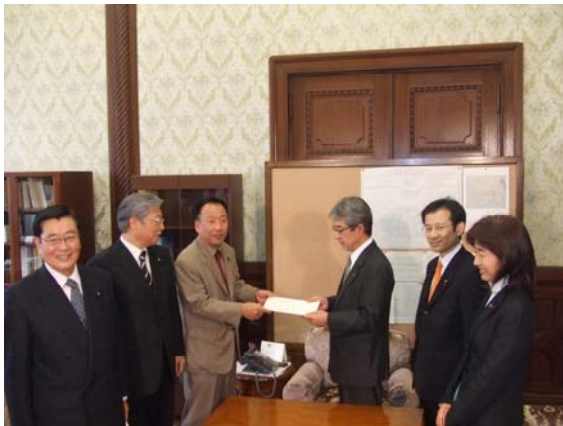
2009, 06
 kusuo-report
 Since2007.09 Vol. 22



一暮らしを守り、地域を守る一 大島九州男 提出法案 【2008.03~2009.05】

大島九州男は、皆様にささえられ少しずつではありますが、確実に一歩一歩進んでいます。初めは小さな一歩かもしれませんが、小さな一歩を積み重ねて。国民・世界の人々が“笑顔”で暮らせる社会を実現するために、芯がぶれることが無く「奉仕と無の心」で、これからも歩んでいきます。

▶ 教科書バリアフリー関連3法案 2008.3/18



すべての子どもの学ぶ機会を保障する観点から、国と教科書会社が拡大教科書発行に責任を持つというように制度改革を行うというものです。その後、本法案をベースに与野党協議を行い、「障害のある児童および生徒のための教科書用特定図書等の普及の促進等に関する法律案」として超党派議員立法を提案。そして参議院を経て衆議院で可決・成立されました。

▶ 銃刀法改正案 2008.4/25

参議院内閣委員会で質疑の機会をいただきました。質疑では、青少年育成の観点から、銃を所持する者が、命の大切さや倫理・道徳などの社会的な心構えを持つ必要性を要望。これを受け佐藤国務大臣は、『大島議員の趣旨に沿った方向付で、文部科学省とも協議をしながら真摯に行っていく』と答弁を頂きました。



参議院本会議にて全会一致により可決し、これにより、刀剣類の定義見直しは46年ぶり、銃規制の抜本改正は28年ぶりに成立しました。

▶ 障がい者制度改革推進法案を提出

2009.4/14



本年は、国連の「障害者の権利条約」の今国会中の批准、「障害者基本法」の5年後の見直し、「障害者自立支援法」の3年後の見直し…という重要な年です。

民主党は、障がい者が当たり前で地域で暮らし、地域の一員として共に生活することができる社会を目指しています。

年齢や性別、障がいの有無などに関わらず、すべての人が暮らしやすい社会を構築する事を基本理念として、障がい者の生活や社会参加が不安なく積極的になされるよう、また、障がい者を保護の対象から、権利の主体へと変換させるためにも、小手先の改革ではなく抜本的かつ総合的な制度改革を行っていくためにも、本法案を提出しました。



▶ 「高校無償化法案」および学校教育力の向上3法案 2009.3/25

高校無償化法案は、交付税単価と同額とする高等学校の標準授業料額を設定し、国公立立全ての高等学校等の生徒の保護者に対して授業相当額の就学支援金を支給することにより、公立高等学校における教育の実質的無償化を推進し、私立の高等学校等の教育に係る負担を軽減するものです。また、私立の高等学校等の生徒の保護者の中で年収500万円以下の世帯に対しては特に、標準授業料の2倍の額を支払うとしています。

学校教育力の向上を目的とする3法案については、学力低下、特に保護者の経済力によって学力格差に繋がっているとして「現在の政権与党における教育費縮減方針は、ますます学力格差を生む事になる」と危機感を表明したうえで『全ての子どもの学習権の保障。機会の平等完全確保』を掲げる民主党のテーゼを実現するための法案です。



▶ 水俣病被害の救済に関する特別措置法を提出 2009.4/17

加害企業の救済ではなく、被害者すべての救済・未来の子ども達にも影響が出てくる可能性も含めて、被害者の方たちの立場の法案として、しっかり審議を進めていきます。

また、大島九州男が事務局長を務める水俣病対策作業チームは水俣市と新潟において、現地視察を行い提出した法案説明と今後の対応等について意見交換を行いました。

今後も引き続き患者団体と話し合いを重ねながら、被害者の皆さんが納得できる解決を目指していきます。

